

第1節

令和2年度の防衛力整備

令和2(2020)年度の防衛力整備は、防衛大綱及び中期防に基づき、多次元統合防衛力の構築に向けた取組を着実に実施することとしている。

具体的には、領域横断作戦を実現するため、宇宙・サイバー・電磁波といった新たな領域における、より一層の能力を獲得・強化することとしている。また、新たな領域における能力と一体となって、各種事態に効果的に対処するため、海空領域における能力、スタンド・オフ防衛能力、総合ミサイル防空能力、機動・展開能力についても引き続き強化することとしている。さらに、後方分野も含めた防衛力の持続性・強靱性を強化することに加えて、少子高齢化なども踏まえた人的基

盤の強化、軍事技術の進展を踏まえた技術基盤の強化などに優先的に取り組むとともに、安全保障環境の変化を踏まえ、日米同盟・諸外国との安全保障協力も強化することとしている。

また、この際、従来とは抜本的に異なる速度で、資源を柔軟かつ重点的に配分することにより、防衛力を強化することとしている。さらに、あらゆる分野での陸海空自衛隊の統合を一層推進し、縦割りに陥ることなく、組織及び装備を最適化することとしている。

加えて、格段に厳しさを増す財政事情などを勘案し、一層の効率化・合理化を徹底することとしている。

Q 参照 図表Ⅱ-4-1-1(令和2年度防衛力整備の主要事業)

解説

令和2年度の防衛力整備における宇宙・サイバー・電磁波の領域に関する能力強化

令和2(2020)年度の予算において、防衛大綱及び中期防を踏まえ、宇宙・サイバー・電磁波といった新たな領域における能力の獲得・強化を着実に進めていきます。

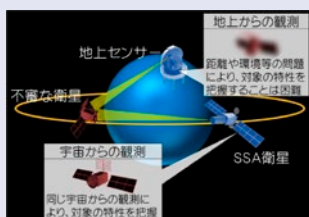
宇宙領域については、宇宙空間の安定的利用を確保するため、①宇宙作戦隊の新編などの体制整備、②宇宙状況監視システム・SSA衛星(宇宙設置型光学望遠鏡)の整備、③我が国の人工衛星に対する電磁妨害状況を把握する装置の取得などの取組を進めてまいります。

サイバー領域については、サイバー防衛能力の技術強化を図るため、①サイバー防衛隊の増員などの体制強化、②AIの活用、情報収集装置の整備などサ

イバーに関する最新技術の活用、③米国防大学などの専門課程への隊員派遣や陸自通信学校及び高等工科大学におけるサイバー教育にかかる体制整備などの高度人材の確保・育成などの事業を行います。

電磁波領域については、電磁波領域の優越を図るため、①電子戦部隊の新編などの体制強化、②スタンド・オフ電子戦機などの装備品の研究開発、③電磁波管理支援技術の研究などの電磁波管理能力の強化、④国際演習への参加など訓練演習及び人材育成といった事業を行うこととしています。

これらの取組を通じて、各領域における能力を獲得・強化し、真に実効的な防衛力の構築を推進していきます。



SSA衛星(イメージ)



サイバー共通課程の実施(イメージ)



スタンド・オフ電子戦機(イメージ)

図表Ⅱ-4-1-1 令和2年度防衛力整備の主要事業（領域横断作戦に必要な能力の強化における優先事項）

獲得・強化すべき能力	概 要
宇宙領域における能力	○宇宙作戦隊等の体制整備 ・空自に「宇宙作戦隊」を新編 ・統幕に「宇宙領域企画班（仮称）」を新設 ○SSA（宇宙状況監視）システムの整備 ○SSA衛星（宇宙設置型光学望遠鏡）の整備 ○宇宙を利用した情報収集能力等の強化 など
サイバー領域における能力	○サイバー防衛隊等の体制強化 ・サイバー防衛隊の体制拡充（約220名⇒約290名） ・陸自サイバー防護隊（仮称）の新編 ○システム・ネットワークの充実・強化 ○サイバー人材の確保・育成 ○サイバーに関する最新技術の活用 など
電磁波領域における能力	○わが国に侵攻する相手方のレーダーを無力化する装備の研究開発 ・スタンド・オフ電子戦機の開発 ・対空電子戦装置の研究 ○わが国に対する侵攻を企図する相手方からの電磁波領域における妨害等に際して、その効果を局限する能力の強化 ・電子防護能力に優れたF-35A戦闘機及びF-35B戦闘機の取得 ・F-15戦闘機の電子戦能力の向上 ○電子戦部隊の体制強化 ・陸自に電子戦部隊を新編 ○電磁波に関する情報の収集・分析能力の強化 ○電磁波管理能力の強化 など
海空領域における能力	○P-1哨戒機の取得（3機） ○SH-60K哨戒ヘリコプターの取得（7機） ○SH-60K哨戒ヘリコプターの救難仕様改修 ○EP-3電子線データ収集機の機齢延伸 ○護衛艦（2隻）、潜水艦（1隻）、掃海艦（1隻）の建造 ○臨時滞空型無人機航空隊（仮称）の新編 ○空中給油・輸送部隊1個飛行隊の新編 ○F-35Bの発着艦を可能とするための護衛艦「いずも」の部分的な改修 ○三沢基地にF-35A飛行隊を新編 ○わが国主導の次期戦闘機の開発 ○水中防衛用小型UUV（無人水中航走体）の導入 など
スタンド・オフ防衛能力	○スタンド・オフ・ミサイルの取得 など
総合ミサイル防空能力	○SM-3ブロックⅡAの取得 ○ペトリオットの能力向上改修 ○総合ミサイル防空の在り方に関する調査研究 など
機動・展開能力	○16式機動戦闘車の取得（33両） ○19式装輪自走155mmリゅう弾砲の取得（7両） ○将来水陸両用技術の実証装置の研究 ○機動師団・旅団の機動展開及び島嶼部等における練成訓練 など
持続性・強靱性	○20式5.56mm小銃の取得（3,283丁） ○9mm拳銃SFP9の取得（323丁） など



陸自が新たに導入する20式5.56ミリ小銃



F-35Bの発着艦を可能とするための部分的な改修を実施する護衛艦「いずも」



F-35B戦闘機



動画：航空自衛隊F-35Aの試験飛行（提供：ロッキード・マーティン社）
URL：https://youtu.be/nuK38sIHfQ



動画：F-35Bの着艦（STOVL）（提供：F-35 Lightning II Joint Program Office）
URL：https://youtu.be/iqupes4VXoA